

キャッチボール



山鹿市社協だより

2024・春
第75号



第26回 山鹿市防災のつどいを開催しました!

4年振りに「山鹿市防災のつどい」を開催し、山鹿市民の皆様をはじめ、地元の小・中学校や高校にもご協力をいただき、多くの方にご参加いただきました。詳細は6ページをご覧ください。



- 会長挨拶・令和6年度重点目標・令和6年度事業計画予算 ②③
- 赤い羽根共同募金実績報告・能登半島地震義援金について ④⑤
- 防災のつどい報告・出前講座・防災ボランティア設置訓練・ダイナムとの協力協定締結 ⑥⑦
- ボランティア連絡協議会交流会・ファミサポ交流会報告・城北高校医療福祉科だより・老人クラブだより ⑧⑨
- 心配ごと相談日・活動計画策定・「特別会員」加入のお礼 ⑩
- ご寄付者紹介 ⑪
- 役員表彰・野口君寄付・ウィンディ21表彰・キャッチボール表彰 ⑫

発行 / 社会福祉法人 山鹿市社会福祉協議会

〒861-0531 熊本県山鹿市中578番地
TEL: 0968-43-1134 FAX: 0968-36-9310
E-mail: yamaga@yamasha.or.jp URL: http://www.yamaga-shakyo.com/



このマークの事業は、赤い羽根共同募金配分金を活用しています。

九州社会福祉協議会連合会 会長表彰

令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)において、本会役員の森川昭彦様と松尾和子様が表彰を受けられ、その伝達式を3月14日に行いました。

本表彰は地域福祉の増進に積極的な活動を15年以上続け、その功績が顕著である者に対して表彰されるものです。両名とも平成17年1月の1市4町の合併当初から山鹿市社会福祉協議会の役員の職務に従事されてきました。幅広い知識と経験を活かして法人の適切な運営に長きにわたり尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。



左から早田順一会長、森川昭彦様、松尾和子様、阿蘇品宗道副会長

今後のさらなるご活躍を期待しています

熊本県社会福祉功労者及び 団体等知事表彰 キャッチボール

令和5年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰式が2月29日に県庁にて行われ、山鹿市から音声訳ボランティアグループ「キャッチボール」(福島崇實代表)が受賞されました。

この表彰は、社会福祉の向上に特に著しい功績のあった個人や団体に対し、その功績を称え表彰するものです。

「キャッチボール」は平成17年に発足以降、社協広報誌の朗読録音を行っており、目が不自由な方に対し、無償で音声訳CDによる情報提供を行っています。広報誌の一言一句を、音声でわかりやすく伝えるため、目の不自由な方にとっては貴重な情報源となっています。



市長表敬訪問時の様子

めのだけ小学校 野口朋輝くん 募金ありがとうございました!

「自分もだれかの役に立ちたい。」の思いをもって寄付をしてくれためのだけ小学校5年生(当時4年生)の野口朋輝くん。自由研究で作成した「マンモスの貯金箱」をその場で壊し、これまで少しずつ貯めてきた貴重なお金を社会福祉協議会に寄付していただきました。

「本人がやりたいと言いつけたことなんで見守ってただけです」と父義高さん。誰かの役に立ちたいと思った朋輝くんとそれを見守ってこられたご家族の思いを無駄にしないよう、山鹿市の福祉事業に活用していきます。本当にありがとうございました。



ボランティア功労者に対する 厚生労働大臣表彰 NPO法人ウィンディ21

「NPO法人ウィンディ 21」(中川妙代表)が、福祉分野等のボランティア活動を、長年率先して行っている個人又は団体に送られる「令和5年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰」を受賞され、12月19日に早田市長より伝達されました。

「NPO法人ウィンディ 21」は、山鹿市の広報誌を朗読録音し、目の不自由な方に対し、音声訳CDを届ける活動をされています。また、一般の方に朗読の素晴らしさを伝えるために朗読会も行っており、長年の地域に根ざした活動とその功績が評価されました。

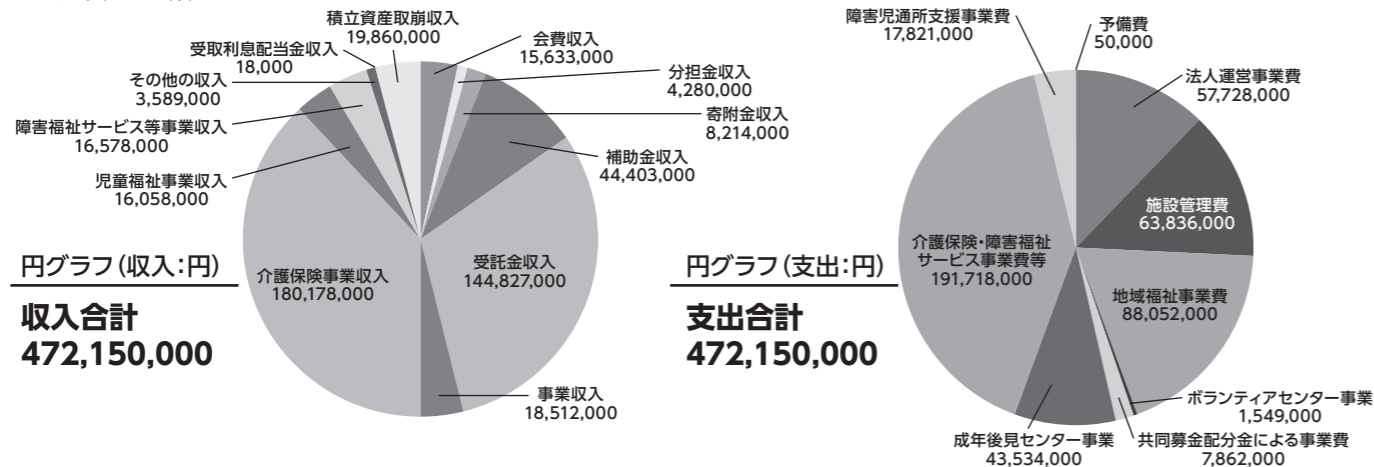


伝達式の様子

令和6年度 事業計画と予算が決まりました。

令和6年3月 理事会と評議員会を開催し、令和6年度の事業計画と予算が議決されました。

令和6年度においては、新たにスタートする第4期地域福祉活動計画に基づいた各事業の目標達成に向けて取り組みます。また、各相談窓口においては、市民の多種多様な相談に対し各関係機関と連携し「ワンストップ型相談窓口」を目指します。また、社会福祉協議会が担っている役割について、市民・企業・団体等へ理解を求め、社協会費、寄附金等の自主財源の確保に努めると同時に必要とされる法人運営を目指します。



●社協会費・寄付金・共同募金配分金で実施する主な事業

人育成のために 809,000円 ・子どもボランティアリーダー養成講座 ・ワークキャンプ ・ボランティア養成講座 ・高校生のための保育ボランティア講座 ・災害ボランティア講座 ・音声訳フォローアップ講座	みんなで支え合う地域づくりのために 17,073,000円 ・実態調査・座談会 ・小地域ネットワーク事業 ・社協推進員との連携 ・民生児童委員との連携 ・福祉協力員の設置と育成 ・地区社協、区社協支援 ・見守りネットワーク活動 ・あったか地域活動支援 ・命のバトン事業 ・フードバンク事業	ボランティアセンター事業 2,864,000円 ・ボランティア活動の需給調整 ・ボランティア連絡協議会との連携 ・ボランティア団体の活動支援 ・災害ボランティア体制の整備 ・防災のつどい	心配ごと相談 1,420,000円 ・一般相談 ・司法相談 ・法律相談
高齢者・障がい者への支援 2,329,000円 ・生活支援サポートセンター事業 ・音声訳録音による情報の提供 ・はつらつ百年塾 ・福祉機器の貸与	ひとり親家庭等支援のために 1,543,000円 ・一日親と子のつどい(親子旅行) ・小学校入学、中学卒業祝い(図書カードの寄贈)	子育て支援のために 100,000円 ・子育てサロンの支援 ・子育てサポーター派遣事業	その他 2,344,000円 ・広報紙(キャッチボール)の発行 ・ホームページの運用 ・福祉団体への助成 ・供養事業

●山鹿市 及び 熊本県社協からの受託事業

・指定管理施設の管理運営	55,857,000円	・生活支援サポートセンター事業(一部受託)	3,325,000円
・ふれあいサロン事業	9,374,000円	・ファミリーサポートセンター事業	3,408,000円
・包括的相談支援体制構築事業	23,963,000円	・生活福祉資金貸付事業	9,083,000円
・生活困窮者自立支援事業	10,595,000円	・生活困窮者家計改善事業	2,279,000円
・成年後見・利用促進事業	14,656,000円	・地域福祉権利擁護事業	5,813,000円
・SOSキーホルダ事業	6,474,000円		

●自主事業

・成年後見センター事業	23,065,000円
(成年後見事業20,805,000円・地域福祉権利擁護事業2,260,000円)	
※上記の受託金を除く	
・介護保険等事業	191,718,000円(居宅介護支援・訪問介護・通所介護)
・障害児通所支援事業	17,821,000円(こじか園)

※熊本県共同募金会 山鹿市共同募金委員会事務局も行っています。



会長 早田 順一

「みんながつくる みんなでつくる みんなが安心・福祉のまち」の実現に向けて

少子高齢化の進行や人口減少、就業構造の変化や人手不足の深刻化、地域における人間関係の希薄化等の背景に加え、社会経済の減退や社会的孤立、生活困窮世帯の増加など様々な福祉課題に対する対応や令和6年能登半島地震等、いつ発生するか分からない災害時に一人でも多くの命を守るために平常時から防災に加え、住民同士の支え合い、助け合いの仕組みづくりが必要とされております。

こうした中、本会では「みんながつくる みんなでつくる みんなが安心・福祉のまち」の基本理念に基づき、地域社会で生じている変化を共有し、地域の方々と共に助け合い、支え合える、山鹿市の地域性を活かした取り組みを関係機関との連携のもと進めて参りました。

令和6年度においては、新たにスタートする第4期地域福祉活動計画の着実な実行及びこの計画を基に複合的な福祉課題・生活課題解決に向けた多機関との連携や事業開発等、各事業の目的に応じた展開を行い、住民参画のもとに地域における見守りネットワーク活動

に加え「地域共生社会の実現」に基づいた地域福祉プラットフォームの構築等行政、社会福祉法人、関係機関・団体等との更なる連携による地域福祉活動を展開いたします。

また、「地域共生社会」の取組みのひとつとなっている「重層的支援体制整備事業」として「福祉総合相談窓口」の取組みに加え、継続して取組む「生活困窮者自立相談支援事業」「生活困窮者家計改善支援事業」の各相談窓口において、市民の多種多様な相談に対し各関係機関との連携による「ワンストップ型相談窓口」を目指します。

なお、介護保険事業等については、令和6年度の法改正に伴う対応、働き手不足の問題等、様々な課題についての検討を実施し、継続したサービス提供が実施できるよう、法人の大きな取組みの一つとして検討します。

そのような背景の中、社会福祉協議会が担っている役割について市民・企業・団体等へ理解を求め、会費・寄付金等の自主財源の確保に努めると同時に必要とされる法人運営を目指します。また、補助金・委託金等の財源についても安定的確保に努めるとともに「第2期経営健全化計画」を策定し、着実な実行を目指します。

結びに、市民の皆様方の益々のご多幸とご繁栄をご祈念申し上げます。

令和6年度 重点目標

1. 事務所(本所・山鹿支所)移転の検討
2. 組織体制の検討・提案
3. 経営健全化計画の推進及び第2期計画の策定
4. 指定管理施設管理運営の受託期間満了に伴う対応
5. 人事評価制度の導入
6. 第4期地域福祉活動計画の推進
7. 地区座談会・福祉学習会の開催



たくさんの優しい心♥が集まりました😊

～令和6年能登半島地震災害義援金～



稲葉工務店様



浦方ふれあいサロンの皆様



鹿北小学校様



八幡小学校の皆さん



梶川工業様



荒平婦人会の皆さん



鹿本中学校様



米野岳中学校の皆さん



カラオケ城北会様



三玉老人クラブ様



大道小学校様



西牟田 長様



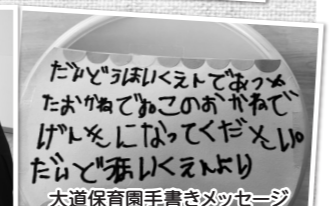
はつらつ百年塾大正琴受講生の皆様



鹿央物産館様



大道保育園の皆さん



だいで保育園にておつみ
たがねでこのおかねで
けんをになつてくださり
たいておつみより
大道保育園手書きメッセージ

ご寄付者一覧

※順不同敬称略にて紹介させていただきます

企業・団体

(有)梶川工業/(有)稲葉工務店/日赤防災ボランティア山鹿あいの会/三玉老人クラブ/はつらつ百年塾大正琴/荒平婦人会/浦方ふれあいサロン/カラオケ城北会/ボランティア連絡協議会鹿北支部/菊鹿町6区老人会/鹿央物産館

学校・保育園

大道小学校/八幡小学校/鹿北小学校/鹿本小学校/鹿本中学校/米野岳中学校/大道保育園

個人

坂田 林/小島 邦夫/西牟田 長/谷川 マルミ/谷川 明/稲葉 保枝/岩井 賢太/徳丸 浩司

その他

山鹿市社会福祉協議会職員一同/山鹿市社会福祉協議会各支所募金箱

※上記掲載以外にも、未掲載希望でご協力いただいている団体・個人様もあります。たくさんのご協力ありがとうございました。

このたびの『令和6年能登半島地震』により被害を受けられた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。本会では被害を受けられた方々を支援するため、義援金の受付を行っております。現在、**688,863円**(3月末時点)の義援金をお寄せいただいております。お寄せいただいた義援金は熊本県共同募金会を通じて被災地に送られます。皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



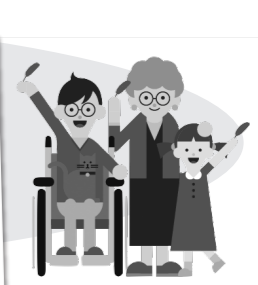
街頭募金活動の様子



街頭募金活動の様子



三玉保育園の皆さん



赤い羽根共同募金

～たくさんのご協力ありがとうございました～

10月より12月末まで、赤い羽根共同募金運動を実施しました。区長さんをはじめ、各地域の住民のみなさまの温かいご理解とご協力により多くの募金が集まりました。寄せられた募金の約7割は、山鹿市の地域福祉事業やボランティア事業に、残りの約3割は災害準備金や県内の福祉施設のために役立てられます。

令和5年度実績 **10,401,790円**

募金の内訳

戸別募金	6,357,750円	職域募金	1,060,149円
街頭募金	232,237円	イベント募金	556,724円
法人募金	1,277,900円	個人募金	293,998円
学校募金	294,655円	その他募金	215,733円
		自動販売機	112,644円



八幡小学校:オンラインで全校生徒に募金の呼びかけを行いました



募金の使いみち

皆様からお寄せいただいた**450円**は次のように活用させていただきます

戸別募金として各世帯から450円を目安にご協力いただいております。

地域福祉事業……………110円

地域の見守りを行う福祉協力員の設置、育成など

調査・広報事業……………66円

社協だよりの発行や音声記録音CDによる情報提供など

ボランティアセンター事業……………77円

子どもボランティアリーダー養成講座など各種講座の開催や、ボランティア団体への助成など

フードバンク事業……………1円

生活困窮者へ食料を給付するフードバンク事業など

在宅・福祉サービス事業……………86円

心配ごと相談事業や、高齢者の生きがい・仲間づくりを目的とした各種講座の開催、物品貸出など

熊本県全域に……………110円

県内の福祉施設の設備整備費や災害準備金など



災害ボランティア
出前講座
in 鹿本高校

生徒は、本会職員が東日本大震災や熊本地震等で被災地の運営支援に携わった時のお話や、災害ボランティアセンターの役割について説明を受けた後、1年生はボランティア役、2年生はスタッフ役に分かれ、山鹿市で災害ボランティアセンターが設置された場合を想定し、ボランティアを受付して活動に送り出すまでの流れを訓練形式で体験しました。

体験後、生徒からは「災害時にこのような取り組みがあることを初めて知った。今後はボランティア活動に積極的に参加したい。」などの声が聞かれました。

鹿本高校で災害ボランティア出前講座を実施しました。この講座は、災害時のボランティア活動や災害ボランティアセンターへの理解と関心を深めてもらい、被災地並びに山鹿市で活躍できる若い人材を育成することを目的に実施しています。

第26回 山鹿市防災のつどい



1月17日(水)に山鹿市防災のつどいを山鹿市消防本部にて開催しました。今回で26回目となる本事業ですが、新型コロナウイルスの影響により、4年ぶりの通常開催となりました。

この事業は、阪神淡路大震災を教訓に、市民の防災意識の向上と災害が起こったときに互いに支え合う地域づくりを目的としています。

今回も山鹿市をはじめ、多くの方々の協力を得て、防災に関する様々な体験や情報の発信により、参加者には楽しく学んでいただくことができました。オープニングでは、米田保育園の園児によるかわいらしいフラッグ遊戯の披露で会場を盛り上げていただき、多くの山鹿市民と地元の小・中学校、高校からの参加を含め、約500名の方にご来場いただきました。

いつどこで起きるか分からない災害から自身や家族を守るために、日頃から考え、備えておくことが大切です。

日本赤十字ボランティア 山鹿あいの会 28年間の活動に幕

平成8年の結成以来、日本赤十字社の理念である「気付き・考え・行動」そして「防災について知ることは命を守ること」を念頭に活動してきましたが、会員の高齢化等の理由により、28年間の活動に終止符を打つこととなりました。

長きにわたり、温かいご支援をいただきましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。



山鹿あいの会 星子 みづほ会長

山鹿市防災のつどいの発起人でもあり、日本赤十字社熊本県支部の第一号防災ボランティアグループとして、長年にわたり地域の防災意識向上のため活動された「山鹿あいの会」が、令和6年3月31日をもって活動を終了されることとなりました。長年の活動とその功績に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

【主催】社会福祉法人 山鹿市社会福祉協議会 【後援】山鹿市
【協力】・日本赤十字防災ボランティア山鹿あいの会・山鹿市管工事業協同組合・鹿本農業協同組合・九州電気保安協会熊本北事業所・(株)HOSHIKO・(株)アステックコーポレーション・国土交通省九州地方整備局菊池川河川事務所・郵便局・日本公衆電話会・(株)グッデイ・NPO法人コメリ防災対策センター・(株)ミスターマックスホールディングス (順不同、敬称略)

災害時の協力協定を締結しました!



3月19日に株式会社ダイナム様と「災害時での施設利用の協力に関する協定」を締結しました。この協定は山鹿市で大規模災害が発生し、災害ボランティアセンターが設置された場合に、ダイナム山鹿店の駐車場を提供していただき、災害ボランティアセンターの一部として活用させていただくことで、より円滑に災害ボランティアセンターを運営することを目的とするものです。

今後も、有事の際に迅速かつ円滑な運営ができる体制づくりをすすめ、住民の方の「安全・安心」に寄与できるよう努めてまいります。

災害ボランティアセンター設置訓練

本会では、大規模災害に備え、災害ボランティアセンターの設置・運営のための訓練を毎年開催しています。今年、本会の役員をはじめ市役所や山鹿青年会議所、ボランティア養成講座及び災害ボランティア講座受講者など84名の参加をいただき、災害ボランティアセンターの仕組みや流れについて体験を行いました。

訓練を通して、参加者に災害時の社協の役割について理解を深めていただくとともに、関係団体や地域住民との協力体制を築くための大事な機会となりました。



介護技術コンテスト優勝

3月12日に熊本学園大学で行われた第14回高校生介護技術コンテスト熊本大会で1年生二人が最優秀賞を受賞しました。8月に長崎で行われる九州大会に向け、これからも研鑽を重ねていきます。

祝

4年連続最優秀賞V4達成!



防災のつどい



1月17日に山鹿消防本部で行われた防災のつどいに1、2年生全員で参加しました。「あいの会」の皆さんや山鹿消防本部の方、山鹿市役所の方々と一緒に炊き出し訓練を行い、カレーや生姜湯などの災害時に役立つ料理が振舞われました。また、スタンプラリーも行われており、各ブースを回りながらみんなで楽しく防災について学ぶことができました。

第7回山鹿市老連シルバー作品展の開催

2月9日(金)～11日(日)第7回山鹿市老連シルバー作品展が、鹿本市民センターで開催されました。竹細工(籠)・迎え花・紙の折物(白鳥)・水墨画・手芸品・写真集など、会員の220点の力作が展示され、400人の来場者がありました。「老人パワーに感動しました!」「もっとたくさんの方に見てほしい!」とのお声をいただきました。

体力測定会開催

2月21日(水)体力測定会を開催しました。握力・上体起こし・長座体前屈・10m障害物競争・開眼片足立ち・6分間歩行の6種目に、挑戦しました。



お問合せ 山鹿市老人クラブ連合会事務局
(山鹿市老人福祉センター内) 鬼木 浩一郎 43-1104



老人クラブだより

ファミサポ会員 交流会開催



やまがファミリー・サポート・センターは、地域において育児の援助を受けたい方(依頼会員)と援助をしていただける方(協力会員)が会員となり、育児について助け合う会員組織です。

本センターでは、年に一度、会員間の交流を深めるために、会員交流会を開催しています。

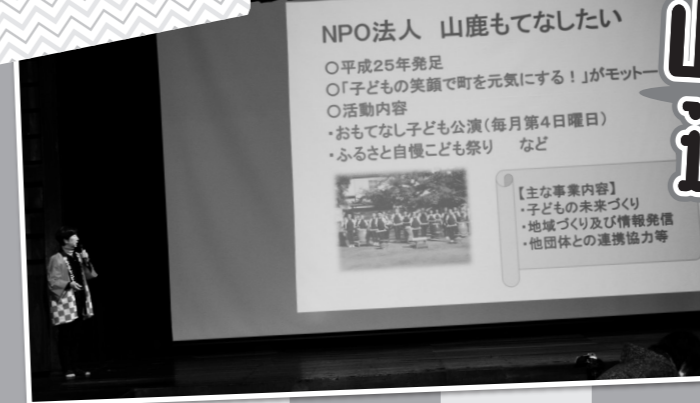
今年度は、2/3(土)菊鹿健康福祉センターにて、親子13組、35名の方にご参加いただき、『お菓子のリース作り』に挑戦しました。親子で協力して、かわいいお菓子のリースができ、みんなで楽しい時間を過ごしました♪



お問合せ

やまがファミリー・サポート・センター
:44-8800

山鹿市ボランティア連絡協議会交流会



2月24日(土)に山鹿市ボランティア連絡協議会主催の交流会が八千代座にて開催されました。この取り組みは、会員同士の親睦と交流を深めることを目的に毎年開催されています。

今年度は山鹿支部所属の6団体が企画し、昔話の語りや広報誌の朗読録音など、各団体からの活動発表のほか、園児による灯籠踊りやこども狂言の披露もあり、和やかな雰囲気の中行われました。最後には八千代座イメージキャラクターのチヨマツくんが登場し、会場全体でチヨマツ体操を踊り、盛況のうちに会を終えることができました。



